

80 歳以上の部 医師部門

受賞者： もりおか やすひこ 森岡 恭彦 (90 歳)

公益社団法人日本医師会 前参与



東京大学医学部卒業後、自治医科大学外科教授、東京大学第一外科教授、同大学医学部附属病院院長を歴任し、昭和 62 年に昭和天皇の手術の執刀医を務めた。日本医師会においては副会長として、国際・生涯教育・倫理など社会にも「開かれた医師会」を目指して活躍。国際面では、世界医師会総会、アジア大洋州医師会連合中間理事会への出席や、「学校・地域保健プロジェクト」における医療協力活動について、ネパール政府と協議を行う等の幅広い活躍をした。さらに生涯教育の研修内容の充実を図り、都道府県医師会を通じて、生涯教育制度の会員への一層の定着を推進すると共に、会員の倫理および資質向上を図り、医療担当者の秩序と、国民の医療に対する信頼を確保するための施策を多く展開した。

また、日本医師会参与時には、同医師会の「会員の倫理向上委員会（後の会員の倫理・資質向上委員会）」の委員長として、具体的方策について 20 年以上にわたり検討を行った。また、日本医師会が昭和 26 年に定めた倫理規範「医師の倫理」を時代に即した形で見直し、平成 12 年に「医の倫理綱領」として改訂した。その後、臨床現場における倫理的諸問題についての指針の不在を問題視し、「医師の職業倫理指針」を新たに作成。本指針は「医の倫理綱領」とともに、現在も医師と患者の信頼関係の構築に寄与している。

そのほかにも平成 29 年に「医の倫理について考える一現場で役立つケーススタディ」を刊行するなど、医の倫理の第一人者として今なお活躍し続けている。

推薦者： 横倉 義武 公益社団法人日本医師会 名誉会長